

第3章

市民の教育と文化

3 - 1

学校教育

基本方針

- 市民とのパートナーシップによって名古屋独自の教育プログラムをすすめることにより、21世紀をリードすることができる人づくりをめざします。
- 変化の激しい時代の中で、健全な人間関係を築きながらたくましく生きるため、子どもに生きる力を育みます。
- 自らを律しつつ他を思いやる心、自他の生命を大切にし人権を尊重する心、美しいものや自然に感動する心、公共のためにつくそうとする心など、豊かな人間性を育む心の教育の充実をはかります。
- 基礎・基本を確実に習得させるとともに、多様でゆとりある教育活動を展開し、一人ひとりが持つさまざまなよさや可能性の伸長をはかります。
- 体験的な学習、問題解決的な学習への取り組みをすすめ、自ら学び自ら考える力を育みます。
- すすんで体力づくりに取り組み、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基礎を養います。
- 家庭や地域との連携を深めつつ、各学校の創意工夫を生かして、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりの実現につとめます。
- 国際化、高度情報化など、新しい時代の潮流に的確に対応することのできる能力の育成をはかります。
- 障害のある児童・生徒が、障害の種類や程度に応じて適切な教育を受けることができるよう、やさしさとぬくもりを大切にした障害児教育をすすめます。
- 子どもたちの学ぶ意欲の向上や多様な学習活動の展開をはかるため、教育環境を整えるとともに、地域開放や安全、環境などに配慮した学校施設の整備をすすめます。
- 市立大学が、学術・文化の中心としてより地域に貢献することができるよう、教育・研究体制を充実するとともに、地域に開かれた大学をめざします。
- 大学などが、地域の知的財産としての役割を果たすことができるよう、開かれた大学づくりを支援します。

1 幼児教育

幼児期からの心の教育の充実

3 - 1 - 0 - 1 - 1

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
心の教育の充実	豊かな人間性が子どもたちに育まれるよう、遊びを中心とした集団生活の中で、豊かな体験をさせ、基本的な生活習慣や社会生活のルールを身につける指導を推進	高等学校との交流実施	高等学校に加え、小学校、中学校との交流実施	教育委員会

体験活動の充実

3 - 1 - 0 - 1 - 2

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
体験活動の充実	幼児期における体験を豊かにするため、保護者の参加も得て文化的体験活動や自然とふれあう活動を充実	童話会の実施 自然とのふれあい活動の実施	音楽会や人形劇などの親子鑑賞会の実施 親子デイキャンプを5歳児学級で実施	教育委員会

多様なニーズに対応した幼児教育

3 - 1 - 0 - 1 - 3

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
3歳児教育の充実	自我の芽生え始めに、よりふさわしい教育環境を提供するため、幼児人口や市民ニーズなどを考慮しつつ、3歳児受け入れを拡充	猪高幼稚園で1学級(20人)増設	植田幼稚園はじめ3園で各1学級(20人)増設 累計28学級	教育委員会
家庭、地域との連携の推進	家庭、地域との連携をすすめ、より幼児教育を充実するため、市立幼稚園の園舎・園庭の地域への開放、未就園児親子登園や子育ての相談を実施 子育て支援のため、私立幼稚園が実施する子育て相談などの子育て支援事業に対し補助を実施(新規)	全園で実施 —	インターネットによる子育て相談の実施 実施	教育委員会
園舎の整備	教育環境を改善するため、老朽化の著しい幼稚園舎を整備	西山台幼稚園の改築実施設計	西山台幼稚園の改築、供用	教育委員会

平成13～15年度に要する投資的事業費 202百万円

私立幼稚園授業料等の補助

3 - 1 - 0 - 1 - 4

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
私立幼稚園授業料の補助	公・私立幼稚園間の保護者負担の格差を是正するため、私立幼稚園児の保護者に授業料を補助	実施	実施	教育委員会
	保護者負担を軽減するため、第3子以降の園児の保護者に、授業料補助に上乘せ補助を実施	実施	実施	
私立幼稚園備品教材費の補助	私立幼稚園の教育環境を改善するため、私立幼稚園の設置者に教育用備品および教材の充実に要する経費を補助	実施	実施	教育委員会

2 小中学校教育

心の教育の充実

3 - 1 - 0 - 2 - 1

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
心の教育の充実	奉仕活動等の社会体験、自然体験、芸術鑑賞などの体験学習や、これらの実践を通じた道徳教育を充実するなど、豊かな人間性を育む心の教育を推進	実施	実施	教育委員会

子どもの心の悩みなどの相談体制の充実

3 - 1 - 0 - 2 - 2

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
学校における相談体制の強化	全市立中学校への拡大をめざして、生徒の心理に専門知識を有するスクールカウンセラーの配置をすすめるとともに、未配置校には、子どもが気軽に相談できるよう心の教室相談員を配置	スクールカウンセラーを13校に配置	スクールカウンセラーを57校に配置 累計70校	教育委員会
	子どもの心の悩みや不安、ストレスにより適切に対応できるよう、教職員に対してカウンセリングについての基礎的な研修を行うとともに、各学校の指導的教員を養成する専門的研修を実施	基礎的研修 639人受講	基礎的研修 1,695人受講 累計6,251人	
		専門的研修 53人受講	専門的研修 176人受講 累計711人	

	児童が遊びや部活動の中で良好な人間関係を築くことの喜びを味わうことができるよう、大学生等のボランティアを「ふれあいフレンド」として小学校に派遣(新規)	—	各区で試行実施	教育委員会
専門相談機関の充実	複雑化、深刻化する相談内容に適切に対応するため、教育相談の総合窓口「ハートフレンドなごや」において、臨床心理士による、より専門的な相談体制を充実	臨床心理士による相談の実施	臨床心理士による相談体制の充実	教育委員会
	心理的な理由で登校できない児童・生徒に対する相談・指導を充実するため、「なごやフレンドリーナウ」において、子どもたちがより気軽に心を開けるよう、大学生等のボランティアによる「フレンドリーユース制度」を実施するほか、区内施設を活用した巡回教育相談・適応指導「フレンドリーアイランド制度」を実施(新規)	—	フレンドリーユース制度の実施 フレンドリーアイランド制度の実施	
	複雑化、深刻化する相談内容に対し、きめ細かな相談が継続的に行えるよう、児童相談所をはじめ他の関係機関との連携を強化	—	相談員の合同専門相談研修の実施	
地域社会が一体となった子どもの心を支える環境づくり	いじめなどを未然に防止するため、学校と家庭、地域、関係機関が一体となって各中学校区に連絡会議を設置し、防止対策を推進	情報交換、意見交換、巡回指導を実施	地域の実情にあわせ連絡会議の活動を充実	教育委員会
	いじめ・問題行動等に至る以前の早期対応をはかるため、全小中学校に情報機器を活用したメールボックスを設置し、相談や情報交換を実施	留守番電話、ファクシミリの設置	学校ホームページ、Eメールの活用	
なごやこどもサポート連絡会議の設置(新規)(再掲)	▶1 - 1 - 2 - 3 - 1 相談・援助体制の充実 → P 42			健康福祉局 教育委員会

一人ひとりの子どもに応じたゆとりある学習の充実

3 - 1 - 0 - 2 - 3

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
学習指導方法の工夫改善	学校生活の入門期にあたる小学校1年生で、よりきめ細かな指導を行うため、30人以下の学習集団を構成し学校生活への適応を促進(新規)	—	全校で実施	教育委員会
	小学校2年生以上において、基本教科を中心としたきめ細かな少人数指導を通して基礎学力の定着を促進	一部校で実施	全校で実施	
	各中学校において、少人数指導やチームティーチングなどの指導を通して、生徒の基礎学力の定着や、学習に対する興味関心の喚起を支援する体制づくりを推進(新規)	—	全校で実施	
帰国児童・生徒教育の推進	帰国児童・生徒が早期に学校生活に適応できるよう特別時間割を設け、専任教諭による個別指導を実施	帰国児童生徒教育研究校6校で実施	帰国児童生徒教育研究校6校で実施	教育委員会
	海外で培った語学能力や生活体験を学校生活の場における国際理解教育に活用	実施	総合的な学習の時間などを活用した国際理解教育の実施	
外国人児童・生徒教育の推進	外国人児童・生徒が早期に学校生活に適応できるよう、日本語指導講師の学校への派遣や日本語教室、教育相談を実施	実施	多様な言語に対応できるよう充実	教育委員会

学校の創意工夫を生かした特色ある教育の推進

3 - 1 - 0 - 2 - 4

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
総合的な学習の時間の活用	新学習指導要領の実施にともない導入される総合的な学習の時間において、国際理解、情報、環境、福祉・健康、少子・高齢化問題といった今日的な課題について、各学校の創意工夫を生かしながら、教科の横断的・総合的な学習を推進	完全実施への移行措置による一部実施	完全実施(平成14年度)	教育委員会
		小学校3年生以上および中学生で週1～3時間程度	小学校3年生以上週3時間程度 中学生週2～4時間程度	

新世紀学校づくり推進事業の拡充	特色ある教育をすすめるため、各学校のアイデアに基づき社会の変化に対応した個性的・先進的な学習プランを実施する新世紀学校づくり推進事業を、すべての小・中・養護学校での実施をめざして推進	30校で実施	年30校で実施 累計208校	教育委員会
-----------------	---	--------	-------------------	-------

体験活動の充実

3 - 1 - 0 - 2 - 5

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
体験学習の推進	地域や企業、体験活動の展開を支援するボランティアなどとの連携を充実し、児童・生徒の成長にあわせた多様な体験活動を推進	実施	職場体験活動の充実	教育委員会
野外体験活動施設の整備	野外における体験活動施設を充実させるため、稲武野外教育センターの老朽化した施設を改築	食堂棟実施設計	食堂棟建設 宿泊棟建設	教育委員会
「夢・チャレンジ」事業の拡充	中学校において、生徒が主体的に創意と工夫に富んだ多様な活動に取り組めるよう、生徒会を中心に生徒たち自身が企画した事業を募集し、実現可能なものに経費を支援	20校で実施	年11校で実施 累計61校	教育委員会

平成13～15年度に要する投資的事業費 852百万円

健康づくりの推進

3 - 1 - 0 - 2 - 6

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
健康づくりの推進	生活習慣病の予防と早期発見のために、糖尿病検診など各種検診を通じて、保護者と連携した健康教育を推進	実施	実施	教育委員会
	体力向上や心身の健康の保持増進をはかるため、教科体育をはじめ教育活動全般にわたって「心と体」の調和をはかりながら体力づくりを推進	実施	実施	

学校給食の充実	わが国の伝統的な食文化のよさを伝え るとともに、外国の食文化の一端にも ふれることのできる機会を充実させる ため、市制施行の日給食、姉妹友好都 市給食などを実施	実施	実施	教育委員会
	食生活の正しい理解と望ましい習慣を 身につけられるよう、食に関する指導 を充実	実施	実施	

国際感覚を身につける教育の推進

3 - 1 - 0 - 2 - 7

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
国際感覚を身につける教育の推進	外国人との実践的な意思疎通能力の基礎を養成するため、中学校で外国人英語指導助手による指導を推進	1学級年7時間程度実施	1学級年10時間程度実施	教育委員会
	小学校において英語を用いた体験活動を実施	英語活動支援者の派遣	学習ボランティア等による英語活動の実施	

情報化に対応できる能力の育成

3 - 1 - 0 - 2 - 8

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
情報化に対応できる能力の育成と環境の整備	総合的な学習の時間などにおいて各学校の創意工夫を生かしながら、情報機器を活用して、情報を選択し主体的に活用し積極的に発信できる能力を育成	実施	実施	教育委員会
	情報機器や情報通信ネットワークを利用した多様な学習が推進できる環境を整備	全中学校でインターネットに接続	全小学校、全養護学校でインターネットに接続 小学校・中学校・養護学校に校内LAN ¹ 整備	

¹ LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網。

環境教育の推進

3 - 1 - 0 - 2 - 9

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
環境教育の推進	学校における教育活動全体を通じて環境教育をすすめ、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動できる態度や能力を育成	ペットボトル、紙パックの回収などの体験活動を実施	ペットボトル、紙パックの回収などの体験活動を実施 総合的な学習の時間で各学校の創意工夫を生かした教育の実施	教育委員会
環境教育推進にかかる施設整備	学校生活の中において環境教育を推進するため、施設面を整備	生ごみ処理機設置16校 太陽光発電設置 田光中学校	生ごみ処理機設置 年16校 累計96校 太陽光発電設置 千種台中学校はじめ3校	教育委員会

平成13～15年度に要する投資的事業費 213百万円

人権尊重教育の推進

3 - 1 - 0 - 2 - 10

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
人権尊重教育の推進(再掲)	▶6 - 0 - 0 - 1 - 2 人権教育の推進 → P 236			教育委員会

地域社会に開かれた学校づくりの推進

3 - 1 - 0 - 2 - 11

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
学校施設の地域開放の推進(再掲)	▶3 - 2 - 0 - 1 - 2 トワイライトスクールの推進 → P 126			教育委員会

学習ボランティア制度の整備 (新規)	各学校でより豊かな教育活動を展開することができるよう、知識・経験を生かしたいと考えている人や、学校の体験活動の場として協力が得られる企業などを、学習ボランティアとして登録する学習ボランティアネットワークを設置	—	設置 総合的な学習の時間で活用 各学校のホームページで学習ボランティアの状況を紹介	教育委員会
保護者等の意向を反映した学校運営システムづくり	地域と連携して教育活動の充実をはかるため、必要とする学校に、学校運営のあり方について幅広く意見を聞くことができるよう学校評議員を設置	試行実施 1 校	実施	教育委員会
学校開放週間の設定(新規)	学校教育に対する保護者や地域の人々の理解を深め、地域と連携して教育活動を展開していくため、学校開放週間を設定	—	実施	教育委員会

安全でゆとりある学校施設の整備

3 - 1 - 0 - 2 - 12

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
校舎等の改修・改築	耐震性能および老朽化を考慮しながら校舎、体育館等の改修・改築を実施 改築などにあわせ、特別教室の充実のほか、地域の人々とのふれあいの空間や地域の防災拠点など、ゆとり、ふれあいや安全の視点を取り入れた施設を整備	改修 小学校16棟 中学校 8 棟 改築 小学校 1 校着工 中学校 2 校完成 1 校着工	改修 小学校64棟 中学校40棟 改築 小学校 3 校完成 2 校着工 中学校 2 校完成 1 校着工	教育委員会

平成13～15年度に要する投資的事業費 15,984百万円

児童・生徒数の減少などへの対応

3 - 1 - 0 - 2 - 13

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
小規模校の解消 (新規)	児童数の減少が著しい小規模校について、保護者や地域住民との合意形成をはかりながら、学校の持つ機能や役割を十分生かせるように、一定の規模を確保するための対策を実施	—	則武、本陣、 亀島の3小学校を統合	教育委員会

過大校の解消	児童・生徒数の将来にわたる見通しをふまえ、30学級を超える過大校の解消をはかるため、分離新設校を設置	小学校 実施設計・ 用地取得 1 校	小学校 開校 1 校 実施設計 1 校 中学校 建設 1 校	教育委員会
--------	--	-----------------------------	---	-------

平成13～15年度に要する投資的事業費 5,759百万円

教育館の改築

3 - 1 - 0 - 2 - 14

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
教育館の改築 (新規)	都心に立地するという好条件を生かし、21世紀にふさわしい教育の拠点として整備	—	整備計画の策定	教育委員会

3 高等学校教育

一人ひとりの生徒に応じたゆとりある学習の充実

3 - 1 - 0 - 3 - 1

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
ゆとりある教育の推進	一人ひとりの生徒に応じたゆとりある教育を推進するため、必修教科・科目の単位数を縮減するとともに、選択教科・科目の数や時間数を拡大	必修単位 普通科38 専門学科35	必修単位 普通科、専門学科ともに31 (平成15年度)	教育委員会

学校の創意工夫を生かした特色ある教育の推進

3 - 1 - 0 - 3 - 2

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
総合的な学習の時間の活用	新学習指導要領の実施にともない導入される総合的な学習の時間において、生徒の興味・関心、進路等に応じて設定した課題について、各学校の創意工夫を生かしながら、教科の横断的・総合的な学習を推進	完全実施への移行措置による一部実施	完全実施(平成15年度) 卒業までに3～6単位程度	教育委員会
高等学校活性化事業の推進	創意と工夫に富んだ教育実践や指導内容・方法の工夫改善および学習環境の質的整備を通じて学校の活性化を推進	1校実施	年1校実施	教育委員会

校舎等の整備	教育環境を改善するため、老朽化した校舎等を改修整備	—	菊里高校プール改築、サブアリーナ建設	教育委員会
--------	---------------------------	---	--------------------	-------

平成13～15年度に要する投資的事業費 340百万円

地域や企業との連携の推進

3 - 1 - 0 - 3 - 3

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
職業教育の充実	生徒の学習に対する目的意識を明確化し、望ましい勤労観を育むため、民間企業などにおいて一定期間の就業体験をさせるほか、社会の第一線で活躍している職業人などを外部講師とする特別講座を開設	就業体験の試行 1校 1クラス 外部講師による特別講座実施 17校 507時間	就業体験の実施 6校 33クラス 外部講師による特別講座実施 17校 1,650時間	教育委員会
学校開放講座の充実	職業課程を持つ高等学校において、その専門的な知識や技能、施設・設備を活用して、地域の人々を対象とした講座を開設	職業課程を持つ6校で実施	職業課程を持つ6校で開講分野の拡大および回数増加	教育委員会

国際感覚を身につける教育の推進

3 - 1 - 0 - 3 - 4

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
外国人との交流を通じた国際理解教育の推進	国際的な感覚を養うため、外国人との交流や、海外派遣を実施 ・市立高校生のシドニー市への派遣 ・市立高校生の東南アジアへの派遣 ・シドニー市からの高校生受け入れ ・外国人英語講師・助手の配置 ・海外留学生の受け入れ ・総合的な学習の時間などを活用した派遣学生による報告会の開催	16人派遣 10人派遣 16人受け入れ 11人配置 29人受け入れ —	年16人派遣 年10人派遣 年16人受け入れ 年11人配置 受け入れの拡充 実施	教育委員会

学科改編や中高連携の検討

3 - 1 - 0 - 3 - 5

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
学科改編等の検討(新規)	国際化、高度情報化などの新しい潮流や、社会のニーズ、生徒の興味・関心、能力・適性などに対応し、多様な進路選択を可能とする教育のあり方および中学校と高等学校が連携した継続的な教育のあり方について検討	—	方針決定	教育委員会

私立高等学校授業料等の補助

3 - 1 - 0 - 3 - 6

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
私立高等学校授業料の補助	公・私立高等学校間の保護者負担の格差を是正するため、私立高校生の保護者に授業料を補助	実施	実施	教育委員会
私立高等学校施設設備費の補助	私立高等学校の教育環境を改善するため、私立高等学校の設置者に教育用施設、設備の充実に要する経費を補助	実施	実施	教育委員会

4 障害児教育

障害にあわせた教育の充実

3 - 1 - 0 - 4 - 1

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
障害にあわせた教育の充実	障害の種類や程度に応じたきめ細かい教育を実施するため、小中学校に障害児学級や通級指導教室 ² を増設するほか、養護学校高等部において重複障害学級 ³ を設置	障害児学級の設置	障害児学級の設置 中学校に難聴学級、言語・難聴通級指導教室を設置 養護学校高等部に重複障害学級を設置	教育委員会

2 通級指導教室

通常の学級に在籍し、比較的軽度の障害がある児童・生徒に対して、通常の学級で行う各教科などの指導とは別に、障害に応じた特別の指導を行う教室。

3 重複障害学級

知的障害児を対象とした養護学校の小学部および中学部に既設されており、主障害である知的障害の程度が重く、かつ視覚障害や病弱などの障害がある児童・生徒のための学級。

通常の学級の児童・生徒との交流の推進

3 - 1 - 0 - 4 - 2

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
通常の学級の児童・生徒との交流の推進	障害の有無にかかわらず、互いに認め合い協力することの大切さを学ぶ教育をすすめるため、養護学校が地域の他の小中学校、高等学校との交流を行うほか、養護学校の行事に地域の人を招き交流を実施	養護学校と地域との交流行事実施	養護学校と地域との交流行事実施 地域の小中学校、高等学校との交流	教育委員会

障害児が利用しやすい学校施設整備

3 - 1 - 0 - 4 - 3

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
障害児が利用しやすい学校施設整備	障害児の学習環境を整備するため、すべての養護学校にプール、エレベーターなどを設置	守山養護学校 プール整備	天白養護学校 プール整備 南養護学校 改築の検討	教育委員会

平成13～15年度に要する投資的事業費 158百万円

5 市立大学

教育・研究体制の充実

3 - 1 - 0 - 5 - 1

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
大学院博士課程等の設置(新規)	より高度な教育・研究体制を整備するため、人文社会学部、芸術工学部および自然科学研究教育センターの大学院研究科に博士課程を設置	—	開設	市立大学
	看護学部大学院修士課程を設置	—	開設	
経済学部新学科の設置の検討(新規)	複雑化する経済現象に対応できる人材を養成するため、新学科の設置を検討	—	調査	市立大学

教育・研究施設の整備

3 - 1 - 0 - 5 - 2

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
総合情報センターの整備(新規)	教育・研究活動を効率化するとともに、各種情報を学外へ提供することにより地域に貢献するため、情報ネットワーク機能と電子化された情報資料の増大に対応した図書館機能とを統合した総合情報センターを設置	—	設置	市立大学
薬学部校舎の改築の検討(新規)	高度な教育・研究に対応できるよう、老朽化した校舎の改築を検討	—	調査	市立大学

地域社会との連携の推進

3 - 1 - 0 - 5 - 3

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
研究活動における企業等との連携	先進的な研究成果の提供やすぐれた人材の育成により地域社会の発展に寄与するため、民間企業等と連携し研究成果の移転・活用を推進	実施	連携の推進に向けた方策の検討	市立大学
市民公開講座等の実施	大学の持つ知識、技術を広く市民に還元するため、公開講座、授業公開、公開セミナーなどを実施	実施	実施	市立大学
社会人入学制度の拡充	蓄積された研究成果の提供や高度専門職業人の養成のため、社会人入学制度を拡充	大学院経済学研究科、人間文化研究科、芸術工学研究科、システム自然科学研究科の修士課程で社会人受け入れ	設置予定の大学院人間文化研究科、芸術工学研究科、システム自然科学研究科の博士課程で社会人受け入れ開始	市立大学
インターンシップ制度の推進	企業等における実習、研修的な就業体験を通じて学生の資質向上をはかるため、インターンシップ ⁴ を推進	実施	実施	市立大学
大学院サテライトキャンパスの設置(新規)	社会人学生の利便性を高めるため、都心に立地する教育館の改築にあわせて、新たに大学院サテライトキャンパス ⁵ を設置	—	整備計画の策定	市立大学

⁴ インターンシップ制度

学生が在学中に、業務内容の把握と適性を見極めるため、企業等において実習・研修的な就業体験をする制度。

⁵ サテライトキャンパス

社会人学生等の通学の利便性に配慮して、都心や交通の結節点に設置した講義室やセミナールームなど。

国際化の推進

3 - 1 - 0 - 5 - 4

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
大学間交流事業の推進	大学間交流協定に基づき、海外の大学との間で研究者、学生の交流を行うことにより、学術研究の高度化をはかるとともに、優秀な人材を育成	芸術工学部とトリノ工科大学間で交流協定を締結	看護学部および自然科学研究教育センターにおいて交流協定を締結	市立大学
外国人研究者招へい事業の推進	海外のすぐれた研究者との共同研究や交流をすすめるとともに、教育研究活動の充実をはかるため、外国人研究者を招へい	短期招へい 5人 長期招へい 6人	短期招へい 15人 長期招へい 15人	市立大学
留学生の積極的な受け入れ	人材育成を通じた国際貢献をすすめるため、留学生の受け入れを拡大	大学院システム自然科学研究科で受け入れ開始	芸術工学部で受け入れ開始	市立大学

6 大学とまちづくり

大学等相互の連携の促進

3 - 1 - 0 - 6 - 1

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
大学等相互の連携の促進(新規)	教育館の改築にあわせて整備する「大人の知」の拠点を活用して、大学等の高等教育機関相互の連携を促進	—	基本方針の策定	総務局

開かれた大学づくりの促進

3 - 1 - 0 - 6 - 2

事業名	事業内容	事業量等		所管局
		平成12年度(実績)	平成13～15年度	
開かれた大学づくりの促進(新規)	大学等の高等教育機関が持つ学術・文化面の蓄積等を名古屋のまちづくりに活用するため、大学等との連携のあり方などについて検討	—	基本方針の策定	総務局